

みんなで命と笑顔を守ろう

幸田町立坂崎小学校 6年 山本 來人

僕が交通少年団団長になった理由は、交通事故を少しでも減らし、学校のみんなが安全に登下校できるようにしたいと思ったからです。

毎日、ニュースでは、1日に3回以上は交通事故について、報道されていることが分かりました。かなり発生する交通事故ですが、どのくらい交通事故が起きているのか気になり、確率を調べてみました。すると、日本国内で交通事故にあう確率、交通事故を起こす確率は2020年のデータによると、交通事故にあう確率は約0.4パーセント、交通事故を起こす確率も0.4パーセントということが分かりました。また、年間30万9,178件もの交通事故が発生していて、約500人に1人が交通事故の被害者になっていることが分かりました。1年間に発生している交通事故数を平均してみると、1日で約847件起きていることになります。僕はこの数字を見て、交通事故の件数がとても多いことに驚きました。

平成30年度での車の交通事故数を統計的に言うと、1年間事故にあわない確率は約85パーセント。10年間事故にあわない確率は21.4パーセントで、ほとんどの人が10年間のうちに何らかの形で交通事故にあうことが分かりました。

交通事故にあってしまうと最悪の場合は命を落としてしまうため、とても気を付けなくてはなりません。また、交通事故にあって、助かったとしても、後遺症が残ってしまうと今後の生活に支障をきたし、色々な人の手助けを必要とする可能性も出てしまいます。

そのため、少しでも交通事故にあわないようにするためには、人から人への声かけが大事だと思います。例えば交通事故にあうと、周りの人を心配させてしまったり、交通事故にあってしまってから後悔しても遅いという事を伝え合えばいいと思います。

